

TY-2111 クラシカルステレオラジカセ

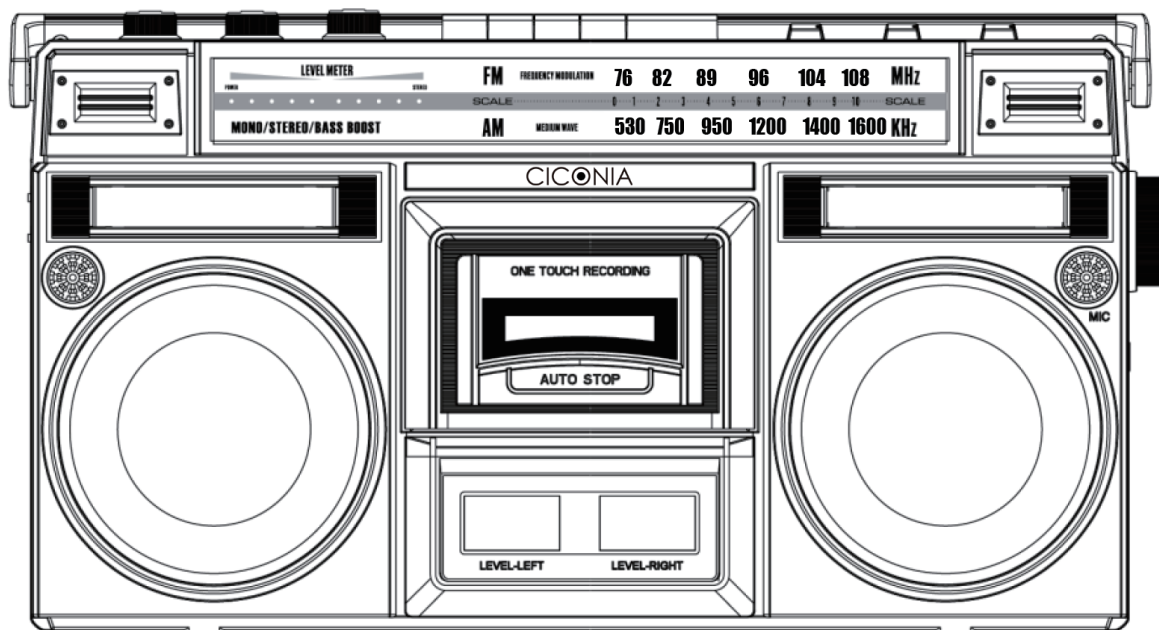
はじめに

この度はクラシカルステレオラジカセ TY-2111をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

※この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

※本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。

※付属品をお確かめ下さい。



安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後もいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

絵表示について

この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解し易い様に 色々な絵表示を使用しています。
誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

絵表示の例

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
分解禁止 		この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		この記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

警告

	交流100V以外の電圧では使用しない。 ※電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。 火災・感電の原因になります。		本製品にダストブレー(エアダスター)を使用しない。 ※製品内部にガスが溜まった場合、引火し爆発する恐れがあります。
	海外では使用しない。 ※本製品は日本国内専用です。		本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 ※衝撃を与えてしまった時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を乗せたり、挟み込んだりしない。 ※火災・感電の原因になります。		雷が鳴り始めたら、アンテナや電源プラグに触れない。 ※感電の危険があります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない。 ※感電・ショート・発火の原因になります。		乾電池を充電しない。 ※乾電池の破裂・液もれが起こり、火災やけが・故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 ※けが・感電の原因になります。		乾電池は直射日光が当たる場所や火の近くなど高温になる場所に置かない。 ※液もれや破裂・火災などの原因になります。
	本体の隙間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 ※けが・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 ※炎が近づくと、火災の原因になります。
	電源コードを乳幼児の手の届くところに置かない。 ※コードが誤って首に巻き付いたりして事故の原因になります。		分解しない。また、修理・改造はしない。 ※火災・感電・けがの原因になります。

⚠ 警告

 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を中止する。 ※火災・感電の原因になります。電源プラグに容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	 プラグを抜く	使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ※絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。 お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 ※感電・火災・けがの原因になります。
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 ※感電・ショート・発火の原因になります。 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ※ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むとショート・火災の原因になります。 取り外した乾電池の扱いに注意する。 ※幼児の手の届かない所に保管してください。乾電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。	 濡れ手 禁止 水濡れ	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 ※感電の原因になります。 水につけたり、水を掛けたりして濡らさない。 ※ショート・感電の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ホコリの多いところ ※変色・変形・火災・感電の原因になります。 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 ※キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。 不安定な場所で使わない。 ※転倒や落下、けが・故障の原因になります。 お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 ※変形・変色・感電・故障の原因になります。 指定以外の乾電池を使用しない。違う種類の乾電池、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 ※乾電池の破裂や液漏れにより、火災・けが・故障の原因になります。	 指示	電源プラグを抜く時は電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 ※感電・ショート・電源コード断線の原因になります。 長時間使用しない時や、家庭用電源で使用する時は乾電池を取り外す。 ※液漏れにより、火災・けが・汚れの原因となります。 音量に注意する。 ※使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると聴力に悪い影響を与えます。 持ち運びする時は、ロッドアンテナをたたむ。 ※けがや故障の原因になります。 持ち運びする時は、USBメモリーや、micro SDカードを取り外す。 ※けが・故障・USBメモリーやmicro SDカードの破損の原因になります。
 指示	乾電池の極性に注意する。 ※乾電池を取り付ける時、乾電池の+(プラス)と-(マイナス)に注意し、表示通りに正しく入れてください。 乾電池の破裂や液漏れにより、火災・けが・故障の原因になります。		

ご使用になる前に

カセットテープについて

1. カセットテープの取り扱いについて

長期間使用していない、古いテープは使用しない。

経年劣化により、テープにカビが生えたり、磁性体が剥がれやすくなっているカセットテープを使用すると、本機にダメージを与え、テープの巻き込みや切断などの原因になります。

テープのたるみをなくして使用する。

テープのたるみは、テープの巻きつきや、切断の原因となります。

テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる時は鉛筆などで直してからご使用ください。

テープを本機に入れたままにしない。

長時間録音再生しない場合は、テープが傷むのを避けるため、本機に入れたままにしないでください。

テープは途中で取り出さず、必ず巻き戻し、ケースに入れ立てて保管してください。

2. 大切な録音を消さないために

録音禁止にするときは、カセットにある「ツメ」を折っておく。

保存しておきたいテープは、カセットにあるツメを折っておくと録音禁止になり、間違って上書きせずになります。また、再び録音したい時は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。

ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合があります。

3. リーダーテープについて

カセットテープの両端のリーダーテープ部分は録音できません。

すぐに録音を開始させたい場合は、録音の前にこの部分を送っておいてください。

4. テープの種類について

本機で利用できるテープはノーマルテープのみです。

ノーマルテープ以外（メタルテープやハイポジションテープなど）は十分性能が発揮できません。

さらに、重ね録りで前の録音が消えずに残ってしまうなど、問題も発生するため使用しないでください。

長時間テープを使わない。

90 分以上のテープは変形しやすく、また伸びやすいため、なるべくご使用をお避けください。

エンドレステープを使わないようにしてください。

5. NR について（再生 / 録音）

本機には NR（ノイズリダクション：雑音除去）機能はありません。

他のカセットデッキで NR を使用して録音されたテープは、本機で聴くと音質が異常に聴こえます。

乾電池について

1. 乾電池を扱うときには

- ・指定以外の乾電池は使用しない。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートさせない。
- ・液もれがおきたら使用しない。

乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取ってください。

万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。

- ・長時間使用しないときや、家庭用電源で使用するときは乾電池を取りはずす。
- ・使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。

USB メモリー、micro SD カードについて

1. USB メモリー

- ・ファイルシステム FAT32
- ・USB2.0 対応

本機は、USB マスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。

お使いの USB 機器が USB マスストレージクラスであるかは、USB 機器の発売元にお問い合わせください。

- ・本機で利用できる USB メモリーは 32GB 以下です。
- ・USB ハブを介して USB 機器を使うことはできません。
- ・本機では、USB メモリー内のファイルを移動させることはできません。
- ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

2. micro SD カード

- ・ファイルシステム FAT32

本機で利用できる SD カードは、micro SD カードタイプ、SDHC タイプ 32GB 以下です。

(標準)SD カード・ミニ SD カードを使用することはできません。

- ・本機では、micro SD カード内のファイルを移動させることはできません。
- ・microSD カードには、誤消去防止スイッチがありませんので、ご注意ください。

※取扱説明書などで本機で使用する「micro SD カード」のことを「SD カード」と記述することがあります。

3. MP3 について

本機では USB メモリーや micro SD カードに記録された MP3 ファイルを再生することができます。

パソコンなどを使って MP3 のデータを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

- ・正式名称 MPEG-1 Audio Layer-3 という音声圧縮の規格。
- ・MP3 データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。
ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。
拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。
また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていても MP3 データ形式でないファイルは再生できません。
- ・ビットレート 96 ~ 320kbps(推奨)
- ・サンプリング周波数 32kHz/44.1kHz/48kHz・999 以上のファイルまたは 99 以上のフォルダが記録された USB メモリーまたは micro SD カードは、正常に再生できないことがあります。
- ・可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ・データの状態によっては、本機では再生できなかったり、音が途切れることがあります。
- ・本機はフォルダー変更の機能は搭載していません。
USB メモリーまたは micro SD カードに記録された順番に再生を行ないます。
- ・DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

使用環境について

1. 結露について

寒いところから急に暖かい場所へ移動させると、内部に水滴が付いたりする結露現象が起こります。

この状態で使用すると、正しい動作をしないことがあります。

このようなときは、電源を入れて 1 時間程度放置してください。

内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

著作権について

本機でお客様がカセットテープ・ラジオ放送などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Bluetooth について

本機は Bluetooth の無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。
対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

1. 電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに電波の発射を停止してください。

2. 通信について

- ・Bluetooth 対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・Bluetooth 機器は無線 LAN 機器 (IEEE802.11b/g/n) と同じ周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。
このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して (10m 程度) 使用します。
- ・本機はすべての Bluetooth 機器と接続を保証するものではありません。
また、接続するまで時間が掛かるものがあります。
- ・Bluetooth 機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

3. 安全にご使用いただくために

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。
場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車、航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

4. Bluetooth 機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本機の裏面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。
無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

5. Bluetooth 機能は日本国内で使用してください

本機の Bluetooth 機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合、またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるテープやメモリーなどへの記録された内容の損害及び録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

録音されたものの使用についても、当社は一切の責任を負いません。

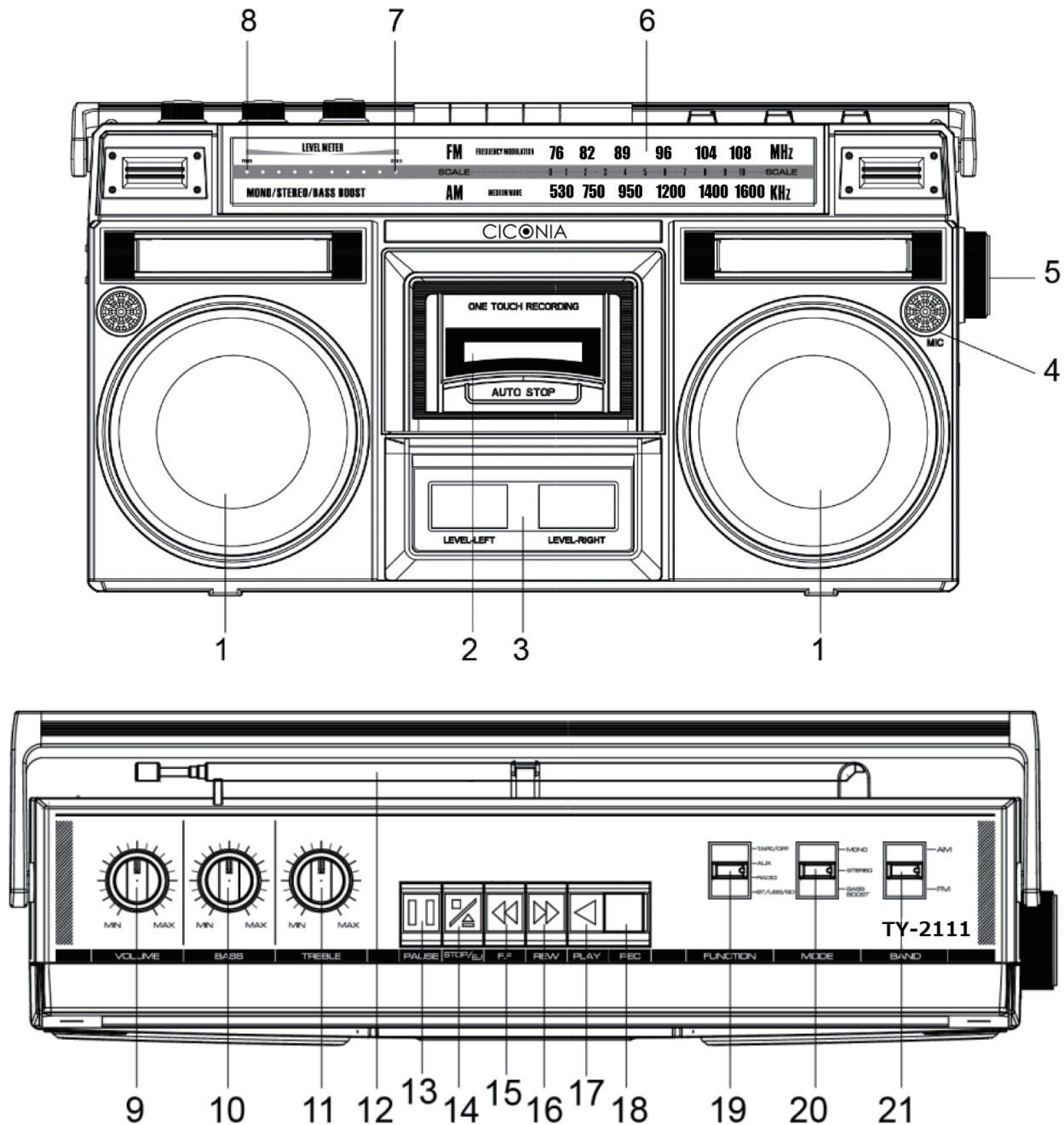
カセットテープはフィルムに粉末状の磁性体を塗布したものです。

長年ご使用になっていないテープや長時間使用されたカセットテープなどは磁性体が剥がれやすく、またカビなどが発生している場合があります。

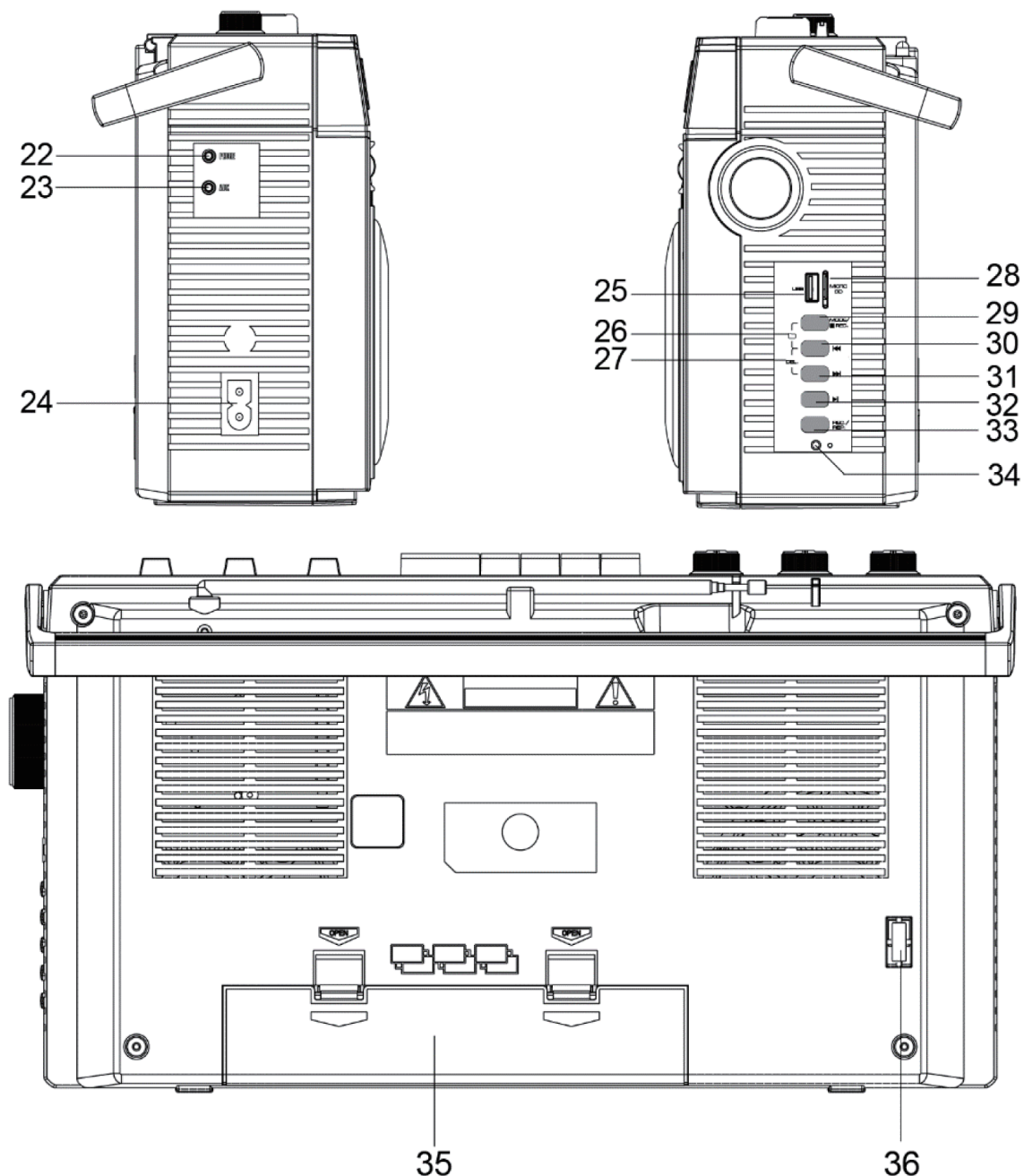
そのようなテープを再生、録音した場合、本体のカセットヘッドやピンチローラーの故障の原因となります。
またお客様のカセットテープの巻き込みや破損の原因となります。

ご使用されたカセットテープが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となります。
またテープの巻き込みや破断、破損については、当社は一切の責任を負いません。

各部の名称



- | | |
|----------------|------------------|
| 1. スピーカー | 12. ロッドアンテナ |
| 2. カセットテープホルダー | 13. 一時停止ボタン |
| 3. レベルメーター | 14. 停止 / 取り出しボタン |
| 4. マイク | 15. 早送りボタン |
| 5. チューニングつまみ | 16. 巻き戻しボタン |
| 6. 周波数表示 | 17. 再生ボタン |
| 7. ステレオ LED | 18. 録音ボタン |
| 8. パワー LED | 19. モードスイッチ |
| 9. 音量つまみ | 20. サウンドスイッチ |
| 10. BASS つまみ | 21. ラジオバンドスイッチ |
| 11. TREBLE つまみ | |



- 22. イヤホン端子
- 23. AUX IN 外部入力端子
- 24. 電源コード接続端子
- 25. USB 端子
- 26. フォルダボタン
- 27. 削除ボタン
- 28. microSD カードスロット
- 29. BT/USB/SD モードボタン
録音停止ボタン

- 30. BT/USB/SD 後スキップボタン
- 31. BT/USB/SD 前スキップボタン
- 32. BT/USB/SD 再生・停止ボタン
- 33. BT/USB/SD 録音・リピートボタン
- 34. BT/USB/SD LED
- 35. 電池ふた
- 36. 電源ボタン

セット内容

お買い上げ後、同梱の部品をご確認ください。

本体 ×1

電源コード ×1

保証書付 取扱説明書 (本書) ×1

電源の準備

1. 本機を平らで水平な所に置きます。
2. 「19. モードスイッチ」を TAPE/OFF の位置にします。
3. 「24. 電源コード接続端子」に電源コードを差し込み、コンセントに接続します。
または、「35. 電池ふた」を外し、単 1 形乾電池 6 本 (別売) を入れます。
4. 「36. 電源ボタン」をオンにしてください。

AUX入力

外部機器を本機に接続し、本機のスピーカーから音楽を再生することができます。
外部機器と本機の「23. AUX IN 外部入力端子」を 3.5mm 径ケーブル (別売) で接続し、
「19. モードスイッチ」を AUX の位置にすると音楽の再生を開始します。

ラジオ操作

1. 「19. モードスイッチ」を RADIO の位置にします。
2. 「21. ラジオバンドスイッチ」を AM または FM の位置にします。
3. 「5. チューニングつまみ」を回して、目的のラジオ局に合わせます。
4. 本機の電源を切るには、「19. モードスイッチ」を TAPE / OFF の位置にし、
カセット操作部のボタンは、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押して
すべて解除してください。
ボタンが押されたままの状態では電力を消費することがあります。
5. FM ラジオを聴く時は、「12. ロッドアンテナ」を引き上げ、位置を調整し受信状態を
良くしてください。

カセットテープ操作

1. 「19. モードスイッチ」を TAPE/OFF の位置にします。
2. 録音済みのカセットテープを「2. カセットテープホルダー」に挿入し、「17. 再生ボタン」
を押します。
3. 早送りするには、「15. 早送りボタン」を押します。
早送りを停止して再生モードに戻るには、「17. 再生ボタン」を押します。
4. 巻き戻すには、「16. 巻き戻しボタン」を押します。
巻き戻しを停止して再生モードに戻るには、「17. 再生ボタン」を押します。
5. 再生を停止するには、「14. 停止 / 取り出しボタン」を 1 回押します。
カセットを取り出すには、「14. 停止 / 取り出しボタン」をもう一度押します。
6. 本機の電源を切るには、「19. モードスイッチ」を TAPE / OFF の位置にし、
カセット操作部のボタンは、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押してすべて解除してください。

Bluetooth操作

1. 「19. モードスイッチ」を BT/USB/SD の位置にします。
2. 外部機器の Bluetooth 機能をオンにし、「TY-2111」を検索してペアリングします。
3. 外部機器と本体が正常に接続されると、本体から通知音が鳴ります。
4. 外部機器の方で音楽等を選択し再生します。
5. 本機の電源を切るには、「19. モードスイッチ」を TAPE / OFF の位置にし、カセット操作部のボタンは、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押してすべて解除してください。

USBメモリー/microSDカード再生

1. 再生の仕方

1. 「19. モードスイッチ」を BT/USB/SD の位置にします。
 2. USB メモリー、または micro SD カードを挿入します。
 3. 本体サイドの「29. BT/USB/SD モードボタン」を押して USB または micro SD モードにすると、音楽を再生します。
 4. 次の曲を聴く場合は「30. BT/USB/SD 後スキップボタン」、前の曲を聴く場合は「31. BT/USB/SD 前スキップボタン」を押します。長押しで早送り、早戻しになります。
 5. 音楽を一時停止、また再生させるには「32. BT/USB/SD 再生・停止ボタン」を押します。
 6. 本機の電源を切るには、「19. モードスイッチ」を TAPE / OFF の位置にし、カセット操作部のボタンは、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押してすべて解除してください。
- ※32GB 以下の USB メモリー /micro SD カードを使用してください。

2. Bluetooth・USBメモリー・microSDカードの切り替え

複数のメディア (Bluetooth 受信・USB メモリー・micro SD カード) が接続・受信されている場合、側面の「29. BT/USB/SD モードボタン」を押すと、それぞれを切り替えて聴くことができます。

押すたびに Bluetooth・USB メモリー・micro SD カードと切り替わります。

※接続されていないものがあれば、飛ばして切り替わります。

注意

USB メモリー・micro SD カードの接続中に取り付け・取りはずしをしないでください。

USB メモリー・micro SD カードが取り付けられると、本機は最後に取り付けられたものの再生を自動で行なうため、突然音が切り替わり、耳にもスピーカーにも悪影響を与える恐れがあります。

USB メモリーと micro SD カードの選択がわかりにくいとき (特に特定のメディアに重要な再生・録音をするとき) は、片方のみ接続して操作しやすくしてください。

カセットテープへ録音

マイクからカセットテープへ

1. 「19. モードスイッチ」を TAPE/OFF の位置にします。
2. カセットテープを挿入し、「18. 録音ボタン」を押して「4. マイク」からの音を録音します。
3. 録音を一時停止するには、「13. 一時停止ボタン」を押します。
4. 録音を停止するには、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押します。

ラジオからカセットテープへ

1. 「19. モードスイッチ」を RADIO の位置にし、ラジオを流します。
2. カセットテープを挿入し、「18. 録音ボタン」を押してラジオを録音します。
3. 録音を一時停止するには、「13. 一時停止ボタン」を押します。
4. 録音を停止するには、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押します。

USB メモリー /micro SD カードからカセットテープへ

1. 「19. モードスイッチ」を BT/USB/SD の位置にし、USB メモリー /micro SD カードの音を再生します。
2. カセットテープを挿入し、「18. 録音ボタン」を押して USB メモリー /micro SD カードからの音を録音します。
3. 録音を一時停止するには、「13. 一時停止ボタン」を押します。
4. 録音を停止するには、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押します。

Bluetooth からカセットテープへ

1. 「19. モードスイッチ」を BT/USB/SD の位置にし、Bluetooth 接続された外部機器の音を再生します。
2. カセットテープを挿入し、「18. 録音ボタン」を押して Bluetooth 接続された外部機器の音を録音します。
3. 録音を一時停止するには、「13. 一時停止ボタン」を押します。
4. 録音を停止するには、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押します。

AUX からカセットテープへ

1. 「19. モードスイッチ」を AUX の位置に設定し、外部機器を接続し再生します。
2. カセットテープを挿入し、「18. 録音ボタン」押して外部機器からの音を録音します。
3. 録音を一時停止するには、「13. 一時停止ボタン」を押します。
4. 録音を停止するには、「14. 停止 / 取り出しボタン」を押します。

USBメモリー/microSDカードへ録音

ラジオから USB メモリー /micro SD カードへ

1. 「19. モードスイッチ」を RADIO の位置にし、ラジオを流します。
2. USB メモリー、または micro SD カードを挿入し、「33. BT/USB/SD 録音・リピートボタン」を長押しすると、現在のラジオ番組を USB メモリー、または micro SD カードに録音します。赤いライトが素早く点滅し、録音が始まったことを示します。
3. 録音が終了したら、「29. BT/USB/SD 録音停止ボタン」を押します。

カセットから USB メモリー /micro SD カードへ

1. 「19. モードスイッチ」を TAPE/OFF の位置にし、カセットテープを再生します。
2. USB メモリー、または micro SD カードを挿入し、「33. BT/USB/SD 録音・リピートボタン」を長押しすると、現在再生中のカセットテープの音を USB メモリー、または micro SD カードに録音します。赤いライトが素早く点滅し、録音が始まったことを示します。
3. 録音が終了したら、「29. BT/USB/SD 録音停止ボタン」を押します。

マイクから USB メモリー /micro SD カードへ

1. 「19. モードスイッチ」を BT/USB/SD の位置にし、「29. BT/USB/SD モードボタン」を押して USB、または SD モードにします。
2. USB メモリー、または micro SD カードを挿入し、「33. BT/USB/SD 録音・リピートボタン」を長押しすると、「4. マイク」からの音を USB メモリー、または micro SD カードに録音します。赤いライトが素早く点滅し、録音が始まったことを示します。
3. 録音が終了したら、「29. BT/USB/SD 録音停止ボタン」を押します。

Bluetooth から USB メモリー /micro SD カードへ

1. 「19. モードスイッチ」を BT/USB/SD の位置にし、「29. BT/USB/SD モードボタン」を押して Bluetooth モードにします。
2. Bluetooth 接続された外部機器の音を再生します。
3. USB メモリー、または micro SD カードを挿入し、「33. BT/USB/SD 録音・リピートボタン」を長押しすると、Bluetooth 再生された音を USB メモリー、または micro SD カードに録音します。ライトが素早く点滅し、録音が始まったことを示します。
4. 録音が終了したら、「29. BT/USB/SD 録音停止ボタン」を押します。

AUX から USB メモリー /micro SD カードへ

1. 「19. モードスイッチ」を AUX の位置にし、外部機器を接続し再生します。
2. USB メモリー、または micro SD カードを挿入し、「33. BT/USB/SD 録音・リピートボタン」を長押しすると、現在再生中の外部機器からの音を USB メモリー、または micro SD カードに録音します。赤いライトが素早く点滅し、録音が始まったことを示します。
3. 録音が終了したら、「29. BT/USB/SD 録音停止ボタン」を押します。

イヤホンの使い方

1. 「9. 音量つまみ」を左に回し、音量を最小にします。
2. 本体側面の「22. イヤホン端子」にイヤホンを接続します。
イヤホン端子にイヤホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
接続したイヤホンを取り外すと音が出るようになります。
※本機のイヤホン端子は 3.5mm3 極ステレオミニ端子です。
3. 「9. 音量つまみ」を回して、適切な音量に調節します。

注意

- ・イヤホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。
※聴力に影響を及ぼす場合があります。

お手入れの仕方

警告

- ・修理技術者以外の人には分解や修理をしない。
- ・お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※感電・火災・けがの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたく絞った柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布で優しくカラ拭きをしてください。

(樹脂部分は強く擦らないでください。傷付きの原因となります。)

カセットヘッド部のクリーニング

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーは長時間使用すると磁粉やゴミ、ホコリなどが付いて汚れてきます。

汚れが酷くなると、音質が悪くなったり、音が小さくなる、前の音が消えないで残る、などの症状がでます。

カセットホルダーを開け、市販のクリーニングキットで清掃してください。

ホコリなどは、市販のクリーニングキットのブロワーを使って掃き出してください。

- ・綿棒にクリーナー液を染み込ませ、ヘッド (テープに触れる面・特に色が変わっている部分) やピンチローラー、キャプスタンを拭き取ります。

- ・クリーナー液を使用した場合、十分乾いてからテープを取り付けてください。

乾く前に取り付けると、録音内容が消えるなど、テープに悪影響を与えます。

※「免責事項」も必ず確認ください。

注意

- ・ベンジン、シンナーでは拭かない。
※変色や変形の原因になります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
※変色・傷の原因になります。
- ・本体に水を掛けたりしない。
※感電・故障の原因になります。

製品仕様

Bluetooth 部仕様

適合規格	Bluetooth Ver.4.2
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC
通信距離	(見通し) 約 10m
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

※通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

※お使いの Bluetooth 機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いの Bluetooth 機器の説明書をご確認ください。

製品仕様

電源	AC100V 50/60Hz DC9V 単 1 乾電池 ×6 本 (別売)
乾電池連続使用時間 ※1	ラジオ受信時 : 約 28 時間 カセットテープ再生時 : 約 26 時間 USB/SD MP3 再生時 : 約 33 時間 Bluetooth 接続時 : 約 38 時間
消費電力	動作時 : 32W スタンバイ時 : 1.8W
定格出力	5.5W + 5.5W
受信周波数	FM : 76-108MHz AM : 530-1600kHz
USB 端子	USB メモリー : 32GB 以下 FAT32
SD カードスロット	microSD カード : SDHC32GB 以下 FAT32
再生録音可能フォーマット	MP3
録音ビットレート	128kbps
カセットデッキ部	ステレオ録音 / 再生 2 ヘッド セミオート
Bluetooth 部	Ver.4.2 に対応 対応プロファイル : A2DP、AVRCP 対応コーデック : SBC、AAC
外形寸法	約幅 425 x 奥行 118 x 高さ 235mm(突起物含む)
質量	約 3kg

※1 ボリューム 30%、新品のアルカリ乾電池使用時。

※1 周囲の温度や使用条件により、連続使用時間は異なることがあります。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼する前に、この表で症状をお確かめください。

これらの処置をしても問題が解決しない場合には購入された店舗、または当社までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置
共通部	電源が入らない	電源コードが外れている	電源コードを本体の電源端子に、電源プラグをコンセントに接続する
		乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
		乾電池の向きが間違っている	乾電池を正しく入れ直す
	音が出ない	モードスイッチの位置が間違っている	モードスイッチを正しい位置にする
		イヤホン端子にイヤホンが接続されている	イヤホンを取り外す
		AUX IN外部入力端子にミニプラグが接続されている	AUX IN外部入力端子を使用しない時は、ミニプラグを取り外す
	イヤホン端子にイヤホンを接続しても聴こえない	イヤホンが奥まで差し込まれていない 4極以上のミニプラグのイヤホンを使用している (正しく使用できない場合があります)	イヤホンを奥まで差し込む 3極のステレオミニプラグイヤホンを使用する、または変換プラグなどを使用してみる
	マイクの録音音質が悪い	マイクの前に障害物がある	マイクの周りを確認する
	雑音が入る	近くで家電や携帯電話などの、電波を発する機器を使用している	電波を発する機器から離す
ラジオ部	雑音が入る	一度電源プラグを抜いて接続しなおす、または乾電池を外して入れなおす	
		テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
		乾電池が消耗している 電波状態が悪い	新しい乾電池に交換する 窓際で試してみる、ロッドアンテナを立てる(FMの場合)
Bluetooth部	音が出ない(小さい)	Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
		無線LANや電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
		正しくペアリングされていない	ペアリングしなおす
		SCMS-Tの送信	本機はSCMS-Tに対応していません
		Bluetooth機器の音量が0になっている (音量が小さくなっている)	Bluetooth機器の音量を調節する(音量を上げる)
	ペアリングできない	Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけてペアリングする
		Bluetooth機器側の問題 先に別のBluetooth機器が接続されている	電源など十分に確保してから試してみる 別のBluetooth機器が接続されていないか確認する
USB SD部	Bluetooth機能が動作しない	USBメモリーまたはmicro SDカードが接続されている	USBメモリーまたはmicro SDカードを取り外す
		FAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている	FAT32でフォーマットしなおす
		USBハブなどを介して接続している	本体に直接接続する
		大容量のものを使用している	32GB以下のものを使用する
	録音できない	正しく取り付けられていない	挿入方向を確認し正しく取り付ける
カセットデッキ部	カセットが入らない	容量がいっぱいになっている	不要なファイルを消去する
	テープが機械に巻きつく	逆向きに入れようとしている	テープが見える側を上にして入れる
		ピンチローラーやキャプスタンが汚れている	クリーニングをする
		テープがたるんでいる 長時間テープを使用している	たるみを無くしてから入れる 90分以上のテープは薄く、静電気などの影響で巻きつきやすいため使用しない
	音が飛ぶ	ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	録音できない	ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
		カセットテープの消去防止ツメが折れている	ツメの部分をテープでふさぐ
		リーダーテープ部分に録音しようとしている	リーダーテープ部分には録音できません
	前の録音が完全に消えない	ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
		ノーマルテープ以外のテープを使用している	ノーマルテープを使用する
入外部部	雑音が多い・音質が悪い	ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
		乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
		正しく接続されていない	正しく取り付ける
入外部部	音が出ない(小さい)	外部機器の音量が0になっている (音量が小さくなっている)	外部機器の音量を調節する(音量を上げる)